



Newsletter of Center for the History of Meiji University

ニュースレター 明治大学史 No.16



(利光國夫氏・利光剛氏インタビュー(利光鶴松関係) 2019年9月11日)

目次

(巻頭言) 地方受験生の確保について思う	明治大学史資料センター所長 村上 一博	2
特集① センターの研究発信事業		3
Ⅰ シンポジウム・講演会 Ⅱ 企画展示会		
特集② センター調査報告		5
Ⅰ 創業者関係 Ⅱ 人権派弁護士関係 Ⅲ アジア留学生関係 Ⅳ 財界人関係 Ⅴ 子母澤寛関係		
大学史資料センター事業報告		6
大学史資料センター刊行物案内		8
オンライン版 三木武夫資料集/山崎今朝弥 弁護士にして雑誌道楽/明治大学の歴史/私学の誕生 明治大学の三人の創立者/三木武夫研究/布施辰治研究/明治大学小史 人物編/大学史紀要第26号 小特集 シンポジウム「アジア留学生史研究の成果と課題」記録		

(巻頭言) 地方受験生の確保について想う

明治大学史資料センター所長
村上 一博

昨今、首都圏の各大学では、18歳人口の急激な減少と地方経済の低迷の影響から、地方受験生(入学生)の減少が懸念され、その確保が喫緊の課題となっているが、明治期の地方新聞でも、しばしば、明治法律学校・和仏法律学校・東京法学院・日本法律学校などの生徒募集の広告記事が掲載されている。過日、岡山市での資料調査のおり、明治33年7月31日付の『山陽新報』(6418号1面)に、次のような記事を見出した。

法律講話と懇親会 明治法律学校
長岸本辰雄氏以下講師等の一行は去る二十八日午後一時より後楽園鶴鳴館に於て法律講話会を開き長嶋法学士は「法治国民の責務」有賀法学士は「外遊所感」と云へる題にて其他数名亦各々題を定めて講演ありたり斯くて又夕刻よりは当地の同校々友等發起して右一行の慰労を兼ね懇親会を三好野花壇に開きたるが会する者赤堀地方裁判所長、田中同検事正、新妻本県警部長等を始め判検事弁護士校友等無慮六十名、発起者総代先づ一場の挨拶を為したるに続いて岸本校長の答辞あり其略に曰ふ、世人往々各法律学校講師等が争うて地方に遊説し生徒の募集に勉めつありと言ふ者あれども我等は決して其目的を有する者にあらず学者が互に自己の学説を主張し相拮抗するは學術進歩の上一大功用あること勿論にして固より之を為を憚らざるも学校は素と営利的の事業に非ず縦令生徒数の多きを望むも又人学生を強請して学校の盛大なるを衒ふの要なき也然らば今回の如く我校の講師等が出で地方に講話するの目的果して那処に在るやを問はば唯我國民の法律思想に乏しきを憂ふるの故のみ此の如く自ら地方に來り地方人士の前に於て講話する所あ

らば独り東京に於てのみ講演せんより幾分か法律思想の普及すべきを信ずればなり云々と終て酒宴に移り一同歡を尽して十一時頃散会せる由因に記す同一行は去月十五日東京を出発し熊本佐賀長崎福岡等の諸県を歴遊し到る處講筵を開き帰途当地に立寄りたる者にして一昨朝又当地を出発し神戸に向ひたり同地に於て例の如く一場の講話回を開き夫れより石川富山の二県を経て帰京する筈なりと尚ほ聞く所にては同氏等の教鞭を執れる明治法律学校は明治十三年の創立にして現今の生徒数千六百人に及び東京の各私立法律学校中優に第一位を占むる者なりと云ふ

岸本校長ほか数名の講師が、二ヶ月以上にわたって、東京→九州(熊本・佐賀・長崎・福岡)→中国(岡山)→近畿(神戸)→北陸(石川・富山)→東京と遊説していることに驚かされるが、岸本校長が、地方遊説の目的は「生徒の募集」ではなく、地方における「法律思想の普及」にあると断言し、そもそも学校は「営利的の事業」ではなく「縦令生徒数の多きを望むも又人学生を強請して学校の盛大なるを衒ふの要なき也」と語っていることは、感慨深い。明治33年という時期は、維新以来続けられていた民商法典の施行がようやく実現して、いわゆる基本六法が整備された時期に当たることから、国民に正しい法知識を普及する必要があったことは分かるが、学校経営の観点から入学生徒の確保に汲々とせず、明治14年の明治法律学校の建学の精神である、「法学の蘊奥」を普及するという気高き理想を抱き続ける岸本校長の気概を、現在の我々も忘れてはならないと思うのである。

特集① センターの研究発信事業

大学史資料センターでは、これまで蓄積した知見と資料を研究資源として、学内各セクションや学外機関と連携しながら大学のステークホルダーや社会各層に向けて講演会やシンポジウムなど、センターの研究を発信する事業を行っています。今回は2019年度に実施した活動の一端をご紹介します。

I シンポジウム・講演会

○人権派弁護士 山崎今朝弥の生涯

〈テクノプラザおかや大研修室兼展示場 2019年3月8日（金）〉



『日本弁護士総覧』（1911年）に山崎が寄せた写真

センター内設置の人権派弁護士研究会（代表 村上一博所長）では、『山崎今朝弥 弁護士にして雑誌道楽』（論創社）を刊行しました。

今回は、その成果を中心として、山崎の生地である長野県岡谷市（山崎は同市旧川岸村出身）にて講演会を開催しました（諏訪信用金庫との共催）。講演会では、人権派弁護士研究会会員が次の演題で登壇しました。村上一博所長「弁護士・山崎今

朝弥」、飯澤文夫研究調査員「郷土と家族」、中村正也研究調査員「明治法律学校と渡米」、山泉進研究調査員「アメリカ時代」の4本です。

なお、本シンポジウム等の成果を活用して、登壇者が協力し、テレビ番組「奇人街道まっしぐら！人権派弁護士・山崎今朝弥」（長野朝日放送2019年10月5日放送）が制作されました。



講演の様相

○アジア留学生史研究の成果と課題

〈明治大学駿河台研究棟第9会議室 2019年9月15日（日）〉

センター内設置のアジア留学生研究会（代表 高田幸男副所長）はメンバーの手による『戦前期アジア留学生と明治大学』と、同時期に刊行された孫安石・大里浩秋『中国人留学生と「国家」・「愛国」・「近代」』（ともに東方書店、2019年）の合評をメインとしたシンポジウムを開催しました。最初に高田副所長から趣旨説明を行い、その後土屋光芳研究調査員、鈴木将久研究調査員の他、以下の各氏（敬称略）が、書評と討論に参加しました。大里浩秋（神奈川大学外国語学部名誉教授）、樂殿武（武蔵野大学グローバル学

部教授）、中村みどり（早稲田大学商学学術院准教授）、見城悌治（千葉大学国際教養学部教授）、孫安石（神奈川大学外国語学部教授）、張一聞（明治大学大学院博士後期課程）。本シンポジウムの詳細は、『大学史紀要』第26号（2020年3月刊行）に掲載されています。



当日の参加者

○厚田ふるさと・平和文学賞 第4回シンポジウム

〈厚田小学校体育館 2019年10月15日（日）〉

校友の歴史小説家・子母澤寛（1892-1968）は、『新選組始末記』『勝海舟』などの名作で知られます。センターでは、厚田ふるさと平和・文学賞実行委員会が主催する「子母澤寛文学賞・同愛猿記賞」を後援しています。今回、同賞の第2回授賞式と併せて開催された、第4回となるシンポジウムにおいて、文学者研究会（研究代表 富澤成實政治経済学部教授〔センター運営委員〕）から、富澤成實委員が「子母澤寛と志賀直哉——動物作品をめぐって——」、吉田悦志研究調査員委員「剣士・牧田重勝論—厚田で生きた武士—」と題した講演を行い、松下浩幸委員がコメントをしました。本講演をベースにした論稿が『大学史紀要』第26



左から富澤委員、松下委員、吉田研究調査員

Ⅱ 企画展示会

大学史資料センターでは、これまでの研究成果を活用して関係機関と連携して各種展示会を実施しています。
以下に2019年度に実施した企画展示をご紹介します。

○神田発信！大学スポーツの軌跡

〈第1会場 明治大学博物館特別展示室 第2会場明治大学中央図書館ギャラリー
2020年1月24日（金）～4月12日（日）〉

※第1会場はコロナウイルス感染症対策により休館時期が生じました

近年明治大学史資料センターでは、他大学類縁機関（大学アーカイブズ）との共催展示に力を入れています。共催展示は、あるテーマに基づいて各大学がバラバラに持っている資料を一堂に会することで、その魅力や意味がより明らかになるメリットがあります。

今回の展示は、専修大学大学史資料室、明治大学史資料センター、中央大学大学史資料課、日本大学企画広報部との共催、法政大学史センター協力により実施しました。いずれも神田区内で法律学校として出発し、現在も千代田区内にキャンパスないし施設を有している大学です。

2020年は東京オリンピック・パラリンピックイヤーであることから、「大学スポーツ」をテーマとしました。本年は、神田の大学からはじめてのオリンピックを輩出して100年目（1920年のアントワープオリンピックに加賀一郎（明治大学）が出場）にあたり、まさに神田の大学スポーツを展示するには格好の機会となりました。

共催・協力の各大学はいずれも第二次大戦以前から各種スポーツの盛んな大学であり、日本スポーツ全体の発展に貢献し、そしてオリンピックをはじめとする世界の舞台へ学生たちを送り出してきました。神田の

大学が、どのようにスポーツとの出会いを果たし、それを課外活動（部活）として組織化し、精華を競い、現在に至ったのかを明らかにしようとしたのが本展示です。展示構成は次のとおりです。Ⅰ 近代スポーツのはじまりと学生 Ⅱ 大学スポーツの組織化と飛躍

Ⅲ 精華を競う一体育会の活躍 Ⅳ テーマ展示「神田の大学と箱根駅伝」

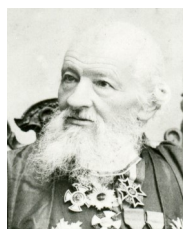
※テーマ展示は中央図書館ギャラリーにて開催

展示では各大学が所蔵する豊富な資料から、近代スポーツの各大学への導入から発展・現在へと続く流れをひと目で分かるようにしました。今後も共催展示について企画をしていきたいと思っています。



○法政大学・明治大学・関西大学3大学連携協力協定締結記念特別展示 「ボアソナードとその教え子たち」

〈法政大学会場 2019年2月23日（土）～4月22日（月）
関西大学会場 2019年6月1日（土）～7月20日（土）〉



本展示は、2017年9月25日に本学、法政大学および関西大学との間で締結された連携協力協定の一環として企画されました。明治大学では2018年に展示とシンポジウムを開催しましたが、2年目を迎える2019年度、法政大学と関西大学でそれぞれ展示会とシンポジウムを開催しました。展示会は、3大学の創立者たちが共通して薫陶を受けたボアソナードの事績と、その教え子たち、そして3大学の創立について振り返り、世界史的な観点からその意義を改めて考える機会にすることを目的としたものです。展示会場の条件がそれぞれ異なりま

すが、3大学からボアソナードとその教え子に関する貴重資料をそれぞれ持ち寄ることで、これまでにない展示会を行うことができました。



左から法政大学、関西大学での展示

特集② センター調査報告

大学史資料センターは明治大学のアーカイヴズとして、大学が歩んできた歴史に関する様々な調査・資料収集活動を行っています。蓄積した資料や情報を整理して基礎資源とし、様々な情報発信に活用しています。

I 創立者関係 〈2019年3月13日（水）～16日（土）矢代操関係 福井市・鯖江市・越前市〉

創立者矢代操と明治大学関係者をめぐって資料調査を行いました。福井県立文書館（14・16・17日）、福井県立図書館（14・15・16日）、越前市中央図書館（15日）、鯖江市まなべの館（16日）と資料調査を行い、矢代操とその周辺について調査しました（写真は矢代操旧宅地）。また司法官僚として創立者たちと近い立場にあった栗塚省吾について調査しました。



II 人権派弁護士関係 〈①2019年5月24日（金）水野スウ氏インタビュー ②2019年12月4日（金）・2020年1月27日（月） 鶴澤総明関係 茂原市〉



日弁連会長・明治大学理事長を務めた水野東太郎について、令嬢の水野スウ氏にインタビューしました（写真はインタビューの様式）。

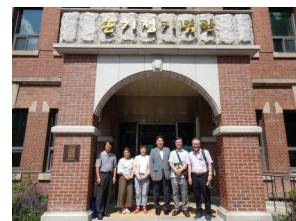
また、明治大学総長を務めた鶴澤総明について調査を進めています。

今年度は鶴澤の生地である茂原市に資料調査を実施しました。なお鶴澤総明ご遺族より、鶴澤の遺品類のご寄贈を受け、現在その整理を進めています。

III アジア留学生関係 〈2019年8月27日（土）～9月1日（水） 韓国ソウル市〉

留学生関係資料収集として、韓国への調査を実施しました。今回、嚴泰又氏（明治大学校友会大韓民国幹事長）、李允福氏（江原大学名誉教授、明治大学大学院政治経済研究科卒）、李乙珩氏（崇実大学名誉教授、明治大学大学院法学研究科卒）にインタビューを行いました。また資料調査と関連して、孫基禎博物館（写真）及び善隣商校を訪問しました。

なお本調査はJSPS科研費19H01406の助成を受けて実施しました。



IV 財界人関係 〈2019年7月1日（月）・9月11日（水）・11月7日（木）利光鶴松関係 都内〉

校友の小田急創業者・利光鶴松について調査を実施しました。利光の令孫にあたる利光國夫氏と曾孫にあたる剛氏にお目にかかり、インタビューを行い、利光の人となり業績について伺いました（本誌表紙写真）。

また各種資料調査も進めており、利光の墓所（写真）調査、また利光に言及した評伝類の収集も行っています。



V 子母澤寛関係 〈①2019年10月18日（金）～21日（日）北海道石狩市・札幌市、②12月15日（日）子母澤寛令孫宅〉

子母澤寛（3頁参照）の調査も継続しています。3頁掲載のシンポジウムと相前後して北海道文学館（18日。写真）、佐藤薫様宅（19日）、北海道博物館（20日）を訪問し、北海道の文学と、子母澤文学と縁の深い幕末期の北海道の状況について調査を行いました。また、厚田ふるさと平和・文学賞 実行委員会のご高配より、子母澤寛ご令孫様方との面談調査も実施し、家庭人としての子母澤について興味深いお話も伺いました。



大学史資料センター事業報告(2019年度)

1 資料の調査・収集・公開

各部署で所蔵する、保存年限は終了したものの歴史的価値を有する学内文書の調査・移管を随時実施しました。従前から取り組んでいる関係部署との連携をより深め、劣化の著しい文書類については速やかに移管を進めて整理・保存のための措置を講じ、大学アーカイヴズとしての機能強化を図っています。創立者・著名校友（人権派弁護士・昭和歌謡関係者・財界人関係者）・アジア留学生等に関する資料の調査・収集についても継続して推進しています。蓄積した資料や情報は校史を明らかにする材料としてばかりではなく、研究資源としても学内外に幅広く公開します。

2 編集・刊行

調査・収集の成果を学内外に広く公開するため、以下の刊行物を編集・刊行しました。

- ① 論文集『大学史紀要 第26号シンポジウム「アジア留学生史研究の成果と課題」記録』（2020年3月発行）
- ② 広報誌『ニュースレター 明治大学史』第16号（本誌）

3 教育

駿河台・和泉・生田・中野キャンパスにおいて「学部間共通総合講座 明治大学の歴史」を開講しています。明治大学で学ぶ学生に、自分の学んでいる大学がどのような理念で設置され現在に至っているのか、そして大学の特色がどこにあるのかを最新の知見により知らせ、学生が大学をより身近に感じ、大学生活を豊かにすることを目的としています。

4 展示

大学の理念や歩みを幅広い層にわかりやすく伝えていくため、センターで収集・所蔵している資料の展示を実施しました。

- ① 大学史展示室（常設展示 駿河台キャンパスアカデミーコモン地下1階）
- ② 阿久悠記念館（常設展示 同）
- ③ 大学小史展示（企画展示 駿河台キャンパス大学会館1階）
- ④ 3大学共催ボアソナード企画展示（特集参照）

5 社会教育

内外の幅広い層に向け公開講座等を実施し、「開かれた大学」として社会的使命を果たしました。

6 大学史資料センター運営委員会・研究会等

センターで開催した各種会議・研究会等は以下の通りです。

① センター運営委員会

- | | | | |
|-------|----------------|----|--------------------------|
| 第105回 | 2019年 3月 7日（木） | 議題 | センター規程の改正について 他 |
| 第106回 | 2019年 4月17日（水） | 議題 | 2019年度センタースタッフについて 他 |
| 第107回 | 2019年 6月19日（水） | 議題 | 2020年度全学共通総合講座について 他 |
| 第108回 | 2019年 7月17日（水） | 議題 | 2020年度全学共通総合講座について 他 |
| 第109回 | 2019年10月16日（水） | 議題 | スポーツ関係展示とシンポジウムの主催について 他 |
| 第110回 | 2019年11月20日（水） | 議題 | 2020年度全学共通総合講座シラバスについて 他 |
| 第111回 | 2020年 1月15日（水） | 議題 | 『大学史紀要』第二六号の編集について 他 |

② 創立者研究会

（構成員 村上一博所長【代表】 野尻泰弘委員 阿部裕樹【事務局】）

○資料調査（福井県福井市・同鯖江市） 2019年3月13日（水）～16日（土）

③ 人権派弁護士研究会（第Ⅱ期）

（構成員 村上一博所長【代表】 山泉進研究調査員 長沼秀明研究調査員 飯澤文夫研究調査員

中村正也研究調査員 阿部裕樹【事務局】）

○シンポジウム「公開シンポジウム「弁護士 山崎今朝弥の生涯」」（テクノプラザおかや）2019年3月8日（金）

第56回 2019年 5月24日（水） 内容 水野スウ氏インタビュー

- 第57回 2019年 7月 5日 (金) 内容 長沼秀明研究調査員報告「鶴沢総明の女子教育論 他
 第58回 2019年 7月19日 (金) 内容 村上一博所長報告「弁護士山崎今朝弥の甲府事務所探訪記」 他
 第59回 2019年10月23日 (金) 内容 『鶴沢総明と明治大学』(仮)構成案について 他
 ○鶴沢総明関係資料調査 (茂原市郷土資料館・美術館 他) 2019年11月23日(土)
 第60回 2019年12月 4日 (金) 内容 『鶴沢総明と明治大学』(仮)校正案について 他
 ○鶴沢総明関係資料調査 (茂原市立新治小学校) 2020年1月27日(月)

④ アジア留学生研究会

- (構成員 高田幸男副所長【代表】 村上一博所長 三田剛史委員 李英美委員 山下達也委員
 土屋光芳研究調査員 鳥居高研究調査員 鈴木将久研究調査員 長沼秀明研究調査員 阿部裕樹【事務局】)
 第64回 2019年 4月 17日(水) 内容 神奈川大学との合同合評会について 他
 第65回 2019年 5月 15日(水) 内容 合同合評会での報告者等について 他
 第66回 2019年 5月 29日(水) 内容 韓国関係留学生研究の現状について
 第67回 2019年 6月 12日(水) 内容 見城悌治『留学生は日本で何を学んだのか』書評会
 ○打合せ 内容「留学生データベースの入力作業について」 2019年6月19日(水)
 ○打合せ 内容「韓国調査について 他」 2019年7月10日(水)
 ○打合せ 内容「韓国調査の事前打合せ」 2019年8月26日(金)
 ○韓国調査 参加:高田 村上 李 山下 山泉 2019年8月27日(土)～9月1日(水)
 ○シンポジウム テーマ「アジア留学生史研究の成果と課題」(研究棟第9会議室) 2019年9月15日(日)
 第68回 2019年 10月 2日(水) 内容 2020年度大学院学際系科目の開講申請について 他
 第69回 2019年 11月13日(水) 内容 『大学史紀要』への記事掲載について 他
 第70回 2019年 12月18日(水) 内容 2020年度大学院学際系科目シラバスについて 他
 第71回 2020年 1月 22日(水) 内容 台湾調査について 他

⑤ 財界人研究会

- (構成員 白戸伸一委員【代表】 村上一博所長 阿部裕樹【事務局】)
 第 5回 2019年 5月 8日(水) 内容 白戸伸一委員報告「利光鶴松略歴」 他
 第 6回 2019年 6月26日(水) 内容 図書館所蔵の『利光鶴松翁手記』(復刻版)の内容について 他
 ○利光鶴松関係調査 (小田急電鉄本社) 2019年7月1日(月)
 第 7回 2019年 7月17日(水) 内容 白戸伸一委員報告「利光鶴松略歴 小田急関係文書調査対象」 他
 ○利光鶴松関係調査 (ハイアットリージェンシー東京) 2019年9月11日(水)
 ○利光鶴松関係調査 (利光鶴松墓碑) 2019年11月7日(木)
 第 8回 2020年 1月29日(水) 内容 福井淳氏を招き利光鶴松研究について打合せ

⑥ 文学者研究会

- (構成員 吉田悦志委員【代表】 富澤成寛委員 村松玄太【事務局】)
 第 1回 2019年5月17日(金) 内容 研究会の今後の予定について
 第 2回 2019年7月26日(金) 内容 「厚田ふるさと平和・文学賞」表彰式・シンポジウムの開催について 他
 第 3回 2019年9月18日(水) 内容 北海道出張について 他
 ○資料調査及び「厚田ふるさと・平和文学賞第3回シンポジウム」講演 北海道石狩市・同札幌市 2018年10月19日(金)～28日(日)
 ○資料調査(牧田重勝曾孫及び孫宅) 2018年11月30日(金)
 ○資料調査(子母澤寛孫宅) 2018年12月23日(日)

⑦ 三木資料研究会

- (構成員 小西徳應委員【代表】 村上一博所長 山泉進研究調査員 竹内桂研究調査員 村松玄太【事務局】
 ※信夫隆司日本大学法学部教授参加)
 第 6回 2019年 7月17日(水) 内容 「オンライン版 三木武夫関係資料」の進捗について 他
 第 7回 2019年 9月12日(木) 内容 「オンライン版 三木武夫関係資料」の進捗について 他
 第 8回 2019年10月24日(木) 内容 「オンライン版 三木武夫関係資料」の進捗について 他

⑧ キャンパス史研究会

- (構成員 山田朗委員【代表】 野尻泰弘委員 村上一博所長 高田幸男副所長 李英美委員 村松玄太・阿部裕樹【事務局】)
 第 1回 2019年11月20日(水) 内容 構成員について 他
 第 2回 2020年 1月15日(水) 内容 野尻委員「和泉キャンパス関連資料について」阿部室員「所蔵資料について」

好評既刊 ※『オンライン版 三木武夫資料集』及び『明治大学の歴史』以外の書籍は全国書店でお買い求め下さい。



オンライン版 三木武夫資料集 〈丸善雄松堂刊〉

明治大学史資料センター編 全4部 定価2,400,000円+税(2019・11) ※機関のみ購入可

第66代内閣総理大臣をつとめた三木武夫(1907～1988)が残した膨大な文書群。外交文書、省庁・党内資料など各種政策資料をはじめ、国会答弁資料、総裁選・選挙関連、講演・演説原稿、日記・手帳・書簡・メモなど、戦前から80年代にかけての大量の一次史料で構成され、質量ともに一級の史料群。



山崎今朝弥 弁護士にして雑誌道楽 〈論創社刊〉

明治大学史資料センター監修 山泉進・村上一博編著 四六判並製 346頁 定価2,800円+税(2018・10)

「奇人」といわれた弁護士・山崎今朝弥が遺した数々の「奇文」に漂う諧謔と飄逸、人権や平等を読み解き、一貫して民衆の弁護士として生きた山崎の業績と人柄に迫る(論創社ウェブサイトより)。



明治大学の歴史 〈DTP出版刊〉

明治大学史資料センター編 四六判並製 363頁 定価2,530円+税(2017・11)

明治大学の現在と過去の歴史について、多様な側面から光を当てた入門書。三省堂明治大学駿河台店(03-5282-3480)・Amazonにて購入可。



私学の誕生 明治大学の三人の創立者 〈創英社／三省堂書店刊〉

明治大学史資料センター編 四六判並製 240頁 定価1,700円+税(2015・3)

明治大学の創立者・岸本辰雄、宮城浩蔵、矢代操の生涯をわかりやすく紹介する初めての公式本。



三木武夫研究 〈日本経済評論社刊〉

明治大学史資料センター監修 小西徳應編著 A5判上製 400頁 定価5,200円+税(2011・10)

国民を恐れ、政党政治の未来を信じた「議会の子」三木武夫元首相。その実像に迫る。



布施辰治研究 〈日本経済評論社刊〉

明治大学史資料センター監修 山泉進・村上一博編著 A5判上製 328頁

定価4,000円+税(2010・12)

日本のシンドラールとも呼ばれた「人権派弁護士」布施の多面的な活動を史料とともに検証する。



明治大学小史 人物編 〈学文社刊〉

明治大学史資料センター編 四六判並製 248頁 定価2,300円+税(2011・10)

明治大学が輩出した人物を大学行政・アカデミズム・法曹・政治・財界・作家・芸能文化・スポーツ・アジア人留学生の諸分野から119名を精選して紹介。

定期刊行物 ※入手方法についてはセンターまでお問い合わせ下さい。

大学史紀要第26号

小特集 シンポジウム「アジア留学生史研究の成果と課題」記録 A5判並製 (2020・3)

小特集は、留学生研究の最前線を問うシンポジウム記録。関連資料紹介、各種書評も。

ニュースレター明治大学史 No.16

<http://www.meiji.ac.jp/history/>

発行日 2020年3月30日

編集・発行 明治大学史資料センター 所長 村上 一博

所在地 101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 電話 03-3296-4448 FAX 03-3296-4365